



題名: 酒東改革by防災～酒東で生きる皆さん、本当にここ

は安全ですか？

発表者氏名: 佐藤里々穂 富樫友也 石原滉大

背景・目的

災害に強い酒東を備蓄の観点から築きたいと思った。備蓄の情報を共有することで防災意識の向上に繋がり、災害時の不安を減らすことができると考えた。



すでに分かっていること

- ・酒東には生徒・職員用の食料の備蓄(水、ビスケット缶)が用意されている。
- ・小中学校と高校との間では備蓄に差があり、小中学校のほうが充実している。

仮説

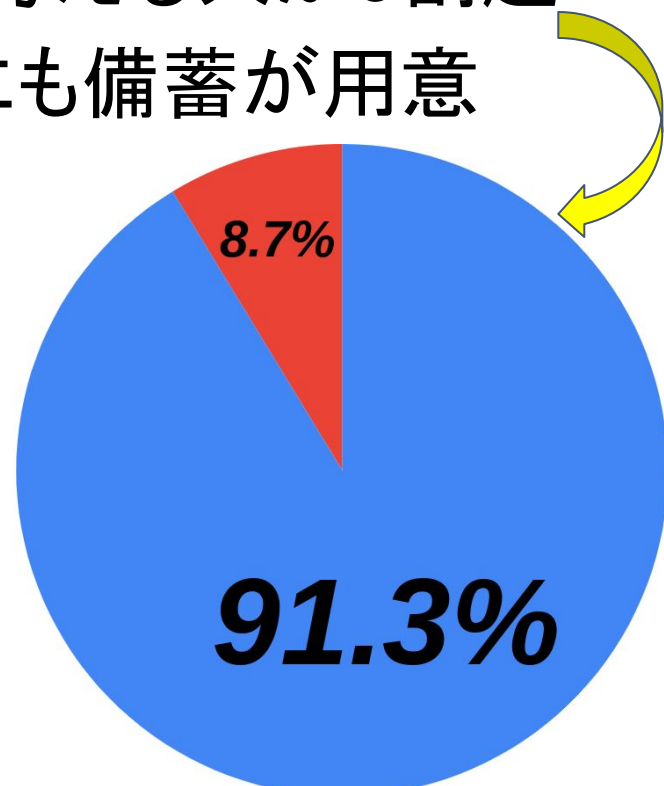
- ①小中学校は市立、高校は県立という違いから備蓄に差があると予想される。
- ②防災意識を高めるためには情報を共有することで高められる。

研究の方法

- ・災害時に安全な場所かどうかを知るために庄内総合支庁の方に質問を行った。
- ・備蓄についての全校生徒の認知度や考えを知るためアンケートを行った。
- ・酒東の食料品以外の備蓄の有無を知るために養護の先生に質問を行った。

結果

- ・法律に基づき都道府県は市町村を援助
 - ➡ 設備は県立 < 市町村立
- ・情報を共有すべきだと考える人が9割超
- ・酒東には食料品以外にも備蓄が用意
 - ex) マスク、新聞紙、生理用ナプキンetc
 - ➡ 全校生徒分を賄えるかは疑問



結論

- ①小中学校は長期的、高校は短期的な避難所ということから差が生まれる。
- ②情報を共有するために関心を得られる取り組みが必要
 - 避難訓練や文化祭・体育祭のイベントで備蓄の試食や実演など

考察

- ・災害に強い酒東を作る
 - **食料や衛生品の拡充**が必要
- ・短期避難所だからこそ集中的に避難所を運営する必要がある
 - **全校生徒の防災意識を高める必要**がある
 - ⇒ 防災に対する人々の関心を集めることも大切だろう

今後の展望

- ・生徒会やイベント運営担当の先生に備蓄の試食や実演について相談し、イベントを計画する。
- ・酒東に不十分な備蓄について事務室に相談する。

参考文献、お世話になった方々

酒田市HP
<https://www.city.sakata.lg.jp/>
 災害対策基本法
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=336AC0000000223>
 庄内総合支庁 伊藤幸司様